

新治中部地区

新治中部地区別計画推進委員会

地域 台村町、森の台、寺山町、中山町、上山1～3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

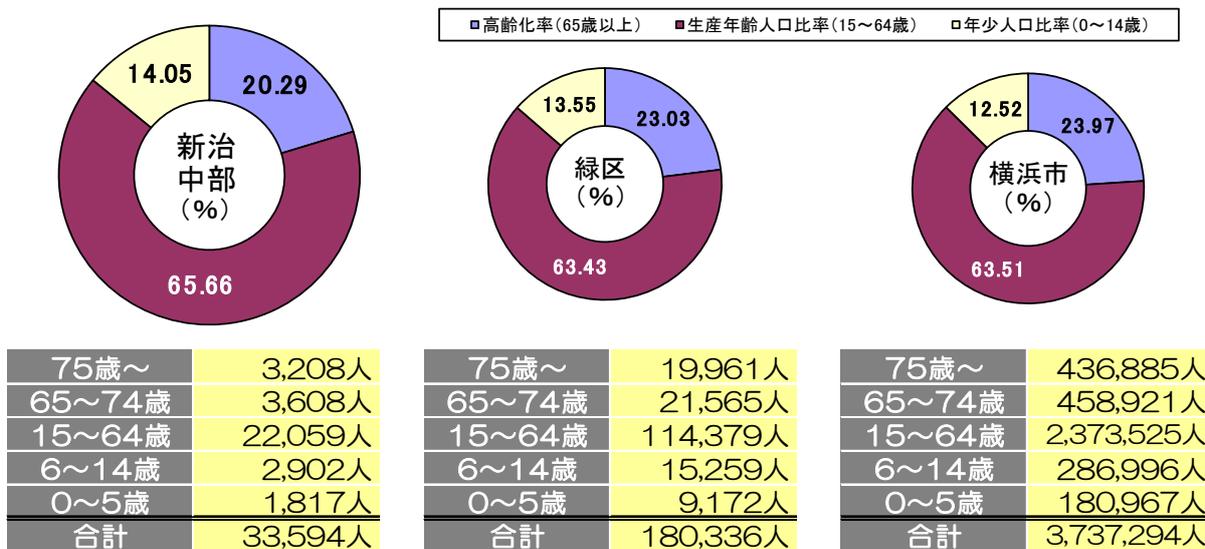
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成29年(2017年)9月末

人口比



地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成29年度地区別計画推進状況



新治中部地区

台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成



防犯・防災に強い、次世代につながるまちをめざして！

新治中部地区では、2つの目標を掲げて、まちづくりに取り組んでいます。

目標1 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい！

防犯・防災キャッチフレーズ

平成25年から始まった「防犯キャッチフレーズ」の取組も5年目を迎え、今年度からはさらに、中学生のテーマを「防災」に変更して実施しました。

地域の3校の小学校5年生と、1校の中学1年生から総数604作品の応募があり、35作品を優秀作品として表彰しました。

こうした取組を継続することで、地域の安全・安心に対する子ども達の意識がしっかりと育ってきています。

素晴らしいキャッチフレーズがたくさん！



最優秀作品は、ポスターとして地区内の掲示板に貼り出しています！

高齢者の日常的な見守り

地域における高齢者の日常的な見守りについて、継続的に話し合いを進めてきました。地域と一緒に見守ってくれる「第三の目」を増やすことを目指し、平成30年2月に地域の新聞販売店2社と協定を締結することとなりました。



(写真：「台村・森の台ふれあいサロン」の様子)

日常的な「見守りの場」として、「台村・森の台ふれあいサロン」が、スタートしました。

月1回、子育て中の方からご高齢の方まで、多くの方が参加しています。身近な地域の居場所を通して、見守り・見守られる関係がつけられてきています。



(画像：地域ささえあい活動イメージ)

目標2 次世代につながるまちにしたい！

次世代を担う子ども達の「健全育成」や「ふるさとづくり」を目指し、20年に渡り続けてきた「地域ふれあいフェスティバル」。今年度は台風で残念ながら中止となりましたが、新治中部地域をつなぐ次世代育成の重要な取組です。

多くの人が集まる活気あるイベントです！

新治中部地区別計画推進委員会



新治中部地区別計画推進委員会
平成29年9月発行 第3期 No.3 (通算No.15)

新治中部地区別計画推進委員会通信

第1回 新治中部地区別計画推進委員会・ みんなで地域を考える会 合同会議を開催しました！

平成29年7月6日(木)に、「第1回新治中部地区別計画推進委員会・みんなで地域を考える会 合同会議」を中山町自治会館にて開催しました。

今年度の委員長には、相原連合自治会長が就任され、更なる計画の推進に向けて動き出しました！

会議当日は、前半に地域の各種取組について考えていく地区別計画推進委員会、後半にみんなで地域を考える会の2部構成で行いました。



▲第1回新治中部地区別計画推進委員会・
みんなで地域を考える会 合同会議の様子

「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画 とは？

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。

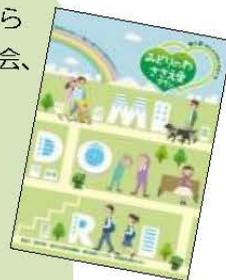
緑区では11連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。



～新治中部地区別計画 2つの目標～

- 1 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- 2 次世代につながるまちにしたい

◀ 詳しくは地区別リーフレットをご覧ください。



この2つを
目標に、取組を
すすめています！



地区別計画に基づく 主な取組の紹介

相原委員長から、これまでの新治中部地区での取組を紹介していただきました！

目標1 『防犯・防災に強い安心できるまちにしたい』

災害時の「自助・共助・近所」を進めるためにも、高齢者だけでなく子どもやその保護者にも地域の防災・防犯活動に関心を持ってもらいたい。そのために新治中部地区では、小中学校と連携し、防犯キャッチフレーズの取組を行っている。

目標2 『次世代につながるまちにしたい』

新治中部地区の人口はここ10年で約3300人増加しているが、担い手不足や近隣とのつながりは希薄になっている。今年、地域のつながりづくりを進める「地域ふれあいフェスティバル」が始まり20回目の節目の年！



裏面も
ご覧ください



意見交換の内容は
裏面へ…

2つの取組に関する報告・意見交換

防犯・防災キャッチフレーズ

これまで4年間、3校の小学5年生と1校の中学1年生を対象に、防犯キャッチフレーズを募集してきた。年々応募件数も増加し、昨年は600件ものキャッチフレーズが集まった。今年度、中学生はテーマを「防災」に変更していきたいと考えている。



▼ H28年度 最優秀表彰作品



▲ 防犯・防災キャッチフレーズチラシ

意見交換

- 生徒達もこの取組を行うことで、地域の一員であるということ意識できると思う。
- 表彰式には保護者も一緒に参加しているが、保護者も嬉しそう。
- 自分が住んでいるまちについてどうしていくか、子どもと保護者が一緒に考える機会。
- 地域をよりよくしていくにはどうすればいいかを考えることは、次世代につながることである。

地域ふれあいフェスティバル

地域ふれあいフェスティバルを始めた20年前当時は、子ども達が荒れている時代だった。そうした時代背景の中、“子ども達のふるさとづくり”や“健全育成”を目指し始まったイベント。このまちの子で良かったと思えるように、笑顔で気軽に声を掛けあえるまちにしていきたい。



意見交換

- 地域ふれあいフェスティバルは、子どもや保護者も多く来ており活気がある印象。
- 記念すべき20周年を迎えられるのも、多くの地域の方のご尽力のおかげ。
- 地域ふれあいフェスティバルをはじめとし、新治中部地区は地域と学校とが一緒に行なう行事が盛んで、顔が見える関係が作られている。
- 季節ごとにイベントがあり、子どもを連れて若い保護者が関わるができる。
- もっと参加者を増やすためにはどうしたらいいか、中学校の文化祭直前でもあるので、中学生の参加を促すのであれば、今後は日程等も含め調整できると良いのではないかと。

<連絡先>新治中部地区別計画推進委員会事務局
緑区福祉保健課長 TEL: 930-2352

Coming Soon!!

第20回 地域ふれあいフェスティバル

両天 決行!

平成29年10月22日(日)
10:00~13:30

(受付開始 9:30~) @ 中山中学校

新治中部地区全体のイベントです!
当日は、防犯・防災キャッチフレーズの表彰式も行います。
みんなで楽しめる競技もあります!
10時までにご来場の方にはカレーの引換券をお渡ししますので、お誘いあわせの上ご参加ください!



新治中部地区別計画推進委員会
平成30年2月発行 第3期 No.4 (通算No.16)

新治中部地区別計画推進委員会通信

第2回 新治中部地区別計画推進委員会を開催しました!

平成30年2月5日(月)に、「第2回新治中部地区別計画推進委員会」を中山町自治会館にて開催しました。
委員会では、平成29年度の実績を振り返るとともに、地区別計画に基づき、安心・安全な地域づくりに向け、今後進めていくべき取組を話し合いました。



第2回新治中部地区別計画推進委員会の様子▶

「みどりのわ・ささえ愛プラン」新治中部地区別計画 とは?

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、誰もが身近な地域で安心して暮らし続けられる緑区を目指していくために、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む計画です。
緑区では11 連合自治会ごとに「地区別計画」を策定・推進し、身近な地域の課題解決に向けて取り組んでいます。



～新治中部地区別計画 2つの目標～

- ① 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- ② 次世代につながるまちにしたい

◀ 詳しくは地区別リーフレットをご覧ください。



地区別計画に基づく 29 年度の実績

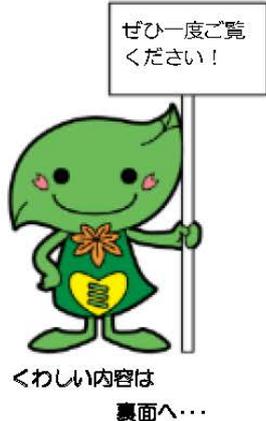
29 年度の新治中部地区での取組を確認しました!

『防犯・防災キャッチフレーズ』

25 年度からスタートした取組も5回目となりました。地域の防犯・防災意識を高めるとともに、子どもたちやその親世代にも安心なまちづくりの大切さを実感してもらうための「防犯・防災キャッチフレーズ」を実施しました。

『高齢者等の日常的な見守り』

新治中部地区でも高齢化が着実に進展しています。こうした中、これまでも地域を見守ってきた自治会等に加え、新しい見守りの目を増やすことで、今まで以上の安全・安心に繋げることを検討してきました。併せて、日常的な見守りの場として、地域の活動を確保しました。



「みどりのわ・ささえ愛プラン」の紹介動画は右の二次元コードからもご覧いただけます!

防犯・防災キャッチフレーズ



平成 29年度は、中学生のテーマを「防災」として、地区内3つの小学校の5年生、中山中学校 1年生を対象に募集を行いました。過去最高となる604件の応募があり、この中から35作品を優秀作品として表彰しました。(表彰式は「ふれあいフェスティバル」が荒天で中止だったため各学校で実施しました。)

募集期間が夏休み中であるため、子ども達が家庭に持ち帰って行うため、家庭でも防犯・防災について話し合う良い機会となっているのではといった意見が出された中で、次年度も引き続き実施していくことが確認されました。



▲ H29年度 最優秀表彰作品

高齢者等の日常的な見守り

29年度は、昨年度発生した地域の新聞販売店からの通報で救命に至った事例を受けて、地域を見守る新たな力の検討を重ねてきました。その結果、地域の新聞販売店2社（ASA中山、読売センター中山）と日常の見守りに関する協定を締結し、今後一層、連携を強化しながら地域の安全・安心をとともに見守っていくことになりました。

また、地域の日常的な見守りの場として、各自治会や団体に現在実施している活動を確認しながら、最近新たに立ち上がったサロンの紹介や、身近な居場所の継続と拡充の必要性について意見交換を行いました。

高齢化が進み、単身世帯も増加している中で、誰かとながれる、より身近な居場所の重要性は増えています。時代の変化にあった見守りや居場所の在り方を引き続き検討していきます。



新聞販売店との見守り協定のポイント

- ・特に早朝や夕方など、地域だけでは手薄になりがちな時間帯を含め、「地域の見守りの目」が増えます。
- ・異変があった場合、関係者・機関につなぎ、情報の共有や安否確認等を行える連絡体制が整いました。
- ・情報交換を定期的に行いながら、危ないケースや対応策などの検討も進めていきます。



▲ 見守り協定締結(平成 30年 2月 17日)
(写真左から)読売センター中山 福島所長、ASA中山 今田店長、
新治中部地区連合自治会 相原会長、
新治中部地区社会福祉協議会 喜代永会長

〈連絡先〉新治中部地区別計画推進委員会事務局 緑区福祉保健課長 TEL : 930-2352